



製薬協

報道関係各位

2020年3月18日

日本製薬工業協会
会長 中山讓治

新型コロナウイルス感染対策への取組みについて

今般、国内外で新型コロナウイルス感染に罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の早期回復と1日も早い感染の終息を心より祈念申し上げます。

日本製薬工業協会は、新型コロナウイルス感染による被災救済の一環として、COVID-19 治療・予防研究開発を支援するためにGISAID (Global Initiative on Sharing All Influenza Data, 所在地：ドイツ) に€50,000 (約600万円) を拠出しました。また、3月10日時点で会員会社から開示されている情報に拠りますと、会員各社は、①治療・予防研究の加速化、②医療用医薬品の提供、③1,250万元 (約2億円) 相当を超える義援金等の拠出、④消毒薬・医療用マスクなどの物品供出などの支援を行っております。

加えまして、会員各社は、厚生労働省からの要請に随時対応しております。2月4日付厚生労働省事務連絡「新型コロナウイルスに関連した感染症発生に伴う医薬品原料等の確保について」の要請に応じ、医療用医薬品の安定供給のために、中国で製造されている医薬品の原料や原薬などの在庫状況や今後の製造の見通し等を確認し、必要に応じて、別の製造ルートの確保等に努めるなど、安定供給に向けて尽力しております。

2月7日付厚生労働省事務連絡「新型コロナウイルス感染症の治療に用いる医薬品のスクリーニングに用いる原薬の提供依頼について」を受け、国立感染症研究所 (感染研) における「新型コロナウイルス感染症の治療に用いる医薬品の基礎的なスクリーニング計画」の協力の呼び掛けに応じ、感染研が行うCOVID-19治療薬スクリーニングのために、各社の化合物原薬または関連論文の提供を行っております。

以上

—本件に関する問い合わせ先—

日本製薬工業協会 広報部 TEL 03-3241-0374

会員各社より収集した主な取組み状況は別紙のとおりです。

※なお、各社の取組みの最新情報等詳細については、各社にお問合せください。

<製薬協会各社の国内での取り組み>

アステラス製薬株式会社

アステラス製薬のグループ会社（安斯泰来制药[中国]有限公司）から、中国赤十字基金会に100万元の寄付を行い、中国・武漢の病院で治療に当たる医療関係者のための防護服やマスク、消毒液などの購入や治療設備の調達に活用されています。

中国における当社製造拠点の瀋陽工場では、ほぼ平常の出勤率に回復しており、厳格な衛生管理のもとで、中国国内への製品の安定供給体制を維持し、武漢をはじめ中国国内に向けた当社医薬品の予定通りの生産・供給を続けています。また、日本国内および欧米アジアをはじめとするグローバル各地域についても当面の製品供給に問題はありません。

研究開発分野では、厚生労働省・国立感染症研究所における「新型コロナウイルス感染症の治療に用いる医薬品の基礎的なスクリーニング計画」の協力呼びかけに応じ、化合物を提供しています。また、欧州製薬団体連合会（EFPIA）・画期的新薬イニシアチブ（IMI）による「新型ウイルス治療薬の開発を目指した活動」への協力呼びかけにも応じ、対応相談を行っています。

アルフレッサ ファーマ株式会社

当社の子会社で手術用縫合糸を製造する青島耐絲克医材有限公司（中国山東省青島市城陽区）から青島市城陽区紅十字会（中国の赤十字組織）へ、新型コロナウイルス感染症に対する対応支援として義援金30万元を3月に寄付しました。

EAファーマ株式会社

厚生労働省事務連絡「感染研において、新型コロナウイルス感染症の治療に用いる医薬品の基礎的なスクリーニング」に基づき、原薬の緊急的な提供協力依頼を受け、糖尿病用薬「ナテグリニド」のサンプルを2月に提供しました。

エーザイ株式会社

2月7日に厚労省を通じて日薬連や製薬協に依頼のあった「新型コロナウイルス感染症の治療に用いる医薬品のスクリーニングに用いる原薬の提供依頼について」への対応として、国立感染症研究所へ原薬を提供しました。また、中国子会社を通じて、非営利団体である武漢市慈善総会（武汉市慈善总会）に100万元の義援金の寄付を行っています。加えて、現地の医療機関に対して、医薬品の提供を行っています。

キッセイ薬品工業株式会社

厚労省の求めに応じて、国立感染症研究所での治療薬のスクリーニングに供するため、原薬を提供しました。

サンファーマ株式会社

厚生労働省審査管理課からの要請に従い、国立感染症研究所に該当する原薬4種を提供しました。

塩野義製薬株式会社

抗ウイルス薬、抗寄生虫・抗原虫・抗真菌薬、ホルモン剤を含む7化合物を新型コロナウイルスに対する医薬品候補スクリーニング目的で国立感染症研究所に提供しました。

第一三共株式会社

現地での対応を支援するために中国紅十字会を通じて100万円の寄付金の拠出、および武漢市の主要医療機関への医薬品の提供を行っています。2月7日付厚生労働省事務連絡に基づき医薬品スクリーニングに用いる化合物原薬を提供しています。

また、AMED感染症実用化研究事業・新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業で実施中の「新型コロナウイルス(2019-nCoV)の制圧に向けての基盤研究」(研究代表者:東京大学医科学研究所・河岡義裕教授、実施期間:2020年2月-2021年3月)に参画し、「新型コロナウイルス(2019-nCoV)に対する遺伝子ワクチン開発」課題を分担しております。本研究成果により、新型コロナウイルスに対する医療対策に貢献することを目指しております。

大日本住友製薬株式会社

国内において、手指消毒剤等の需要が急増しており、当社の当該領域製品の供給量確保に向けて調整を進めております。厚生労働省からの要請により、新型コロナウイルス感染症の治療に使用される医薬品のスクリーニングに用いる原薬について、国立感染症研究所に提供するとともに、「新型コロナウイルスに関連した感染症発生に伴う医薬品原料等の確保」の要請に応じ、安定供給に向けた対応に尽力しております。

また、中国において、新型肺炎の二次感染症の推奨治療薬として当社子会社のメペム(日本での販売名「メロペン」)が取り上げられるなど需要が増しているため、現地生産体制の維持が難しい状況の中、メペム供給を最優先に対応しております。

中国子会社より中国赤十字基金会に100万円の寄付を行っています。この寄付金は、医療関係者の防護服、マスク、消毒液などの医療防具や治療設備の調達に当てられます。

武田薬品工業株式会社

国内の供給不足に対し、マスク11,750枚を厚生労働省に譲渡しました。

中国の赤十字社に200万人民元相当を寄付しました。内訳は、現金100万人民元および、100万人民元相当の備品(N95保護マスク、外科手術用マスク、防護服など)です。備品については、武漢やその他の中国の感染地域に直接、発送しています。

新型コロナウイルスに感染されたハイリスク患者に対する治療薬として、抗COVID-19 SARS-CoV-2ポリクローナル高免疫グロブリン(H-IG)の開発について、米国、アジア及び欧州の規制当局や医療関係者との協議を開始しました。なお、日本においては、関係

会社であり免疫グロブリンの開発と製造販売を行う日本製薬とも協力して進めていく予定です。

田辺三菱製薬株式会社

中国赤十字基金を通じて、義援金100万円を提供しています。また、従業員から寄付を募り、集まった募金額に対し会社と労働組合が同額を寄付するマッチングギフトも行うほか、医療用サージカルマスクの提供も行っています。

厚生労働省からの要請により、新型コロナウイルス感染症の治療に使用される医薬品のスクリーニングに用いる原薬について、国立感染症研究所に提供するとともに、「新型コロナウイルスに関連した感染症発生に伴う医薬品原料等の確保」の要請に応じ、安定供給に向けた対応に尽力しています。

また、子会社であるメディカゴ社（本社：カナダ）が、新型コロナウイルス感染症に対応したウイルスの植物由来ウイルス粒子（VLP※）の作製に成功し、ワクチン開発の取組みをスタートしました。 ※VLP=Virus Like Particle

中外製薬株式会社

国立感染症研究所が行う基礎的なスクリーニング計画に協力するため抗ウイルス剤原薬2種類を供出しています。

また、中華人民共和国における対策活動を支援するため、中国紅十字会へ100万円の義援金を提供しています。

株式会社ツムラ

1月29日に、中国大使館に500万円を寄付いたしました。

帝人ファーマ株式会社

3月9日付にて厚生労働省健康局結核感染症課より要請を受け、新型コロナウイルス感染症に対する治療薬の検討に資するべく、当社が製造販売承認を有します吸入ステロイド喘息治療薬（一般名：シクレソニド）の供給体制を確保いたします。

このたびの対応は、現在、本剤を使用されています気管支喘息の患者さまへの安定供給を確保した上で実施するものです。

富士フイルム富山化学株式会社

厚生労働省からの要請により、国立感染症研究所での治療薬のスクリーニング検討用に抗インフルエンザ薬アビガン®錠の原末を提供しました。

新型コロナウイルス患者への抗インフルエンザ薬アビガン®錠の適応外使用について、厚生労働省の指示に基づき協力しています。

マルホ株式会社

新型コロナウイルス感染症の治療に用いる医薬品の基礎的なスクリーニングのため、国立感染症研究所に「ラノコラゾール」（100mg）、「アメナメビル」（1000mg）を提供し

ました。

株式会社ミノファージェン製薬

2月26日に、中国紅十字会へ100,000元の寄附を実施しました。

Meiji Seika ファルマ株式会社

2月21日に、中国紅十字会対し、100万元を拠出しました。

株式会社ヤクルト本社

上海市慈善基金会へ300 万元の義援金、 地方政府、 病院等へ製品2,512千本の寄付を実施しました。また、地方政府へマスク30,000枚と保護服14枚の寄付を実施しました。

<国外に本社を置く外資系企業本社における取組み>

グラクソ・スミスクライン株式会社

GlaxoSmithKline（本社：英国）は感染症流行対策イノベーション連合（CEPI）と新型コロナウイルスワクチン開発に向けた国際的取組みの支援を目的とする新たな協働を行うことを2020年2月3日に発表しています。新型コロナウイルスに有効なワクチン開発を加速させるため、GSKはパンデミックワクチンにおいて確立されたアジュバントの基盤技術を提供する予定です。また、GSKと、がんや自己免疫系疾患治療薬の開発・商業化に注力する中国の製薬企業Clover Biopharmaceuticals（三叶草生物製薬）は2020年2月24日、タンパク質ベースの新型コロナウイルスワクチン候補（COVID-19 S-Trimer）に関する共同研究契約を締結しました。

サノフィ株式会社

Sanofi（本社：フランス）は、米国保健福祉省（HHS）と協働で新型コロナウイルスワクチンの開発を行っています。また、サノフィ・チャイナは、流行地で使用する設備や消耗品（防護服、ゴーグル、マスク、手袋、消毒剤等）の購入を支援する為、中国赤十字基金会へ100万元を、サノフィパスツール・チャイナは、湖北省の疾病管理センターに50万元相当のウイルス検査用の器具をそれぞれ寄付しました。中国政府の疾病対策を支援に向け更なる活動に取り組んでいます。

日本イーライリリー株式会社

米国本社より、米国の非営利団体であるDirect Reliefおよび米国の災害罹災地域で活動するNGOのProject HOPEに計25万ドル（2500万円相当）を寄付し、その後追加でDirect Reliefに10万ドル（1000万円相当）を寄付して、2つの団体を通してマスクや個人用防護用品、およびその他多くの物資を中国へ提供しました。また、リリー中国は、赤十字社へ100万元（1500万円相当）を寄付しました。

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

本社として、武漢をはじめとする湖北省の各都市の病院に医療用防護具を届けるための中国紅十字基金会への寄付など、中国におけるこの伝染病との闘いの最前線を支援するための総額100万米ドル超に及ぶ寄付・寄贈を実施しました。また、新型ウイルスによる肺炎患者を収容する病院の医療スタッフのためにドイツから10万個の防護マスクを購入して寄贈しました。さらに武漢の新型ウイルスによる肺炎患者の治療を目的とした医薬品を寄贈しました。

ヤンセンファーマ株式会社

ジョンソン・エンド・ジョンソンの医薬品部門であるヤンセン ファーマシューティカル カンパニーズは、COVID-19に対するソリューションの発見に向けた研究支援のため、HIV感染症治療薬「ダルナビルエタノール付加物/コビシタット配合錠」300箱を上海市公共衛生臨床センターおよび武漢大学中南病院に寄付しました。またCOVID-19に対する抗ウイルス特性の薬剤スクリーニング用として、中国疾病予防管理センターに50箱を寄付しました。

また、米国保健福祉省の事前準備・対応担当次官補局（ASPR）の下部組織である生物医学先端研究開発局（BARDA）との協力関係を発展させ、COVID-19に有効なワクチン候補の研究を更に加速させることを発表しました。

加えて、COVID-19感染例の生存や重症感染者における重症度の緩和に既存の医薬品が使用可能であるかを判断すべく、コロナウイルスの病態生理における既知のパスウェイを再調査する取り組みも開始しています。

以上